

漁港・漁場・海岸の施設の設計にかかる相談事例

分類項目	材料ーコンクリート
相談タイトル	施設の補修工法（基礎洗掘部の補修方法）
相談者	長崎県五島市
相談内容（メール）	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の劣化状況で最も多くみられるもののひとつに基礎の洗掘があります。これまで数回設計委託により補修工法の検討をしてもらいましたが、施設全体の更新を除くと水中不分離性コンクリートの充填の一択となっています。五島市は生コンプラントがない離島にも漁港施設があり、水中不分離性コンクリートを現場練する必要がありますが、特殊なコンクリートであるため製作に苦勞している状況です。水中不分離性コンクリートの充填以外で何か工法があればご教授ください。
相談会（メール質疑）の結果（R03.9.13）	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の現場には水中不分離コンクリートが最も適切と考えられるが、ご指摘の通り現在の混練方法では施工能率に制約がある。能率を高めるにはアジテーター、ミキサー船などを使用する必要があるが、一般にコストが増加する。 ・水中不分離コンクリート以外では、①堤体の撤去・再据付、②捨石の充填と袋詰めコンクリートの併用、③グラウトによる方法が考えられる。①撤去・再据付はコストが大きい。②捨石の充填と袋詰めコンクリートの併用は、コスト、施工の安全および袋の耐久性について検証を要するが現場の状況によっては検討候補となりうる。③グラウトは施工管理が難しくコスト的にも大きくなる。 ・今回の回答をまとめるにあたり、建設会社・設計コンサルタントの技術者からコメントを頂いた。コメントの内容は、コストや施工の安全性などの課題を含んでおり、ご質問の現場への導入の適否を慎重に吟味する必要があるが、現場の事情に応じてアレンジしたり、他の工法と組み合わせる等の工夫を加えることにより導入が可能になるかもしれない。
相談会（メール質疑）後の検討状況	